

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハ・リハ キッズ PowersⅢ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 22日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士、児童指導員が毎日2人配置のため制作や手遊びなどのプログラムが豊富。	・はじまりの会でその月の手遊びを行ったり、月ごとに季節の制作をしたりしている。	・中学生、高校生に向けたプログラムを充実していきたい。
2	・施設内に訪問看護があり、連携を密に取ることが出来、家での様子やその日の様子等を共有したり、相談したりすることが出来る。	・パワーズの利用児の様子や訪問看護利用児の様子をその日、または、次の日に共有している。	・実際にパワーズ利用中に様子を見てもらったり、訪問看護利用中に見学に行かせてもらったり、パワーズと訪問看護でカンファレンスや相談会を行ったりして、連携を図っていききたい。
3	・社内社外の研修などがあると積極的に参加し、全スタッフスキルアップの意識が高い。	・会社からの発信だけでなく、子ども部会で知った研修を共有したり、個人で見つけた研修などをスタッフに声掛けしたりして、参加している。 ・パワーズでの社内研修も積極的に参加している。	・参加した人だけで終わるのではなく、参加した研修をスタッフに周知したり、改めて事業所内で研修したりして、参加できなかった場合でもスキルアップできるようにしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎車両の調整が困難	・パワーズ専用の車がないため、外出イベントなどが難しく、行けてもかなりタイトなスケジュールになる。 ・お迎え時間が被った時に、希望の時間でお迎えに行けない可能性がある。	・車両確保へ向けての対応はしている。 ・他部署とのコミュニケーションを図りながら、ミスのないように、調整していく。 ・イベントごとなど、早めに計画し車の調整を行っていく。
2	個別支援計画書に沿った支援が出来ているか不安	・スタッフの出勤時間が違ったり、出勤し次第送迎などで1人1人に対して時間を取ってカンファレンスが行えていない。	・事例検討日などを設定し、スタッフに早め出勤をしてもらい、利用児の支援方法について検討する時間を作りたい。 ・個別支援計画書作成の際にケアカンファを行うので、その日に早め出勤をお願いし、検討していくのはどうか。
3	同じ年齢の児童との交流が少ない	・児童発達支援の児童が現在1名しかいない ・外部との交流の機会が少ない	・近くの保育園との交流を増やす ・児童発達支援の利用児を増やす ・同じ年齢はいないが年齢の近い児童はいるため、年齢が近い児童との集団活動を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	リハ・リハキッズ PowersⅢ (児童発達支援)
------	---------------------------

公表日 2025年 2月 27日

利用児童数

1

回収数

2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	0	0	0	今年から社内の託児所と交流の機会を作るようになりました。今後も近くの公園などに行き、地域の子どもたちとの交流の機会を作りたいと思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	1	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	0	0	コロナで保護者会が実施できていませんでしたが、今年は3月と12月に実施しました。今後は、年3回開催したいと思っています。きょうだい向けのイベントの機会が作れないか相談したいと思います。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	0	0	0	今年からBCPが義務付けられています。12月の保護者会で周知、説明します。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	0	年2回明石エリアでの防災訓練を実施しています。救急対応訓練は、2か月に1回実施しています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	リハ・リハキッズ PowersⅢ (児童発達支援)				公表日	2025年 2月 27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	使った後は元あったところに片づけたり、気づいた人が声掛けして片づけたりして行っている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	スタッフの休みが出た場合は、同じ職種の職員に声掛けし配置し、調整を行っている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	トイレの場所に、トイレマークを貼り付けてわかりやすいようにしている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	毎日終了後に清掃や環境整理を行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	集中力の持続に課題がある利用児については、相談室を活用することがある。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	今年があかし療育図鑑の取り組みで外部の評価を行ってもらった。評価結果はまだなので、公表され次第確認し業務改善に繋げたい。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	事業所全体で勤務時間内に、研修を定期的実施している。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	2		作成中。今年中に公表予定。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	1	アセスメント内容を5領域に分類し、面談で聞き取り、個別支援計画書を作成している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	児発管が原案を作成した時に、スタッフで確認しカンファレンスを行い、利用児に合った支援を検討している。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	その日利用の利用児の計画書コピーをカルテと一緒に準備し、いつでも気軽に見れるようにしている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。						

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			週1、週2利用の利用児もいるので、約1か月活動を固定化したり、少し変化を付けたりして繰り返し行う事で子どもの反応の変化を見ようとしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	送迎があったりスタッフの勤務時間が違ったりして昼礼として時間をとる事が難しいこともありますが、子どもも一緒にはじめの会で、連絡事項など内容について注意しながら周知することがあります。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	送迎があり終礼にさんが出来なかつたり、残業になってしまうため出来なかりすることがありますが、時間があるときは終礼を行い、振り返りを行っています。	1日5分でも振り返りの時間を作り良い支援がしていけるようにしたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	1	3	日々カルテに計画に沿った内容で、どのような取り組みを行い、どんな反応があったかなど支援記録を記入しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	児発管が半年に1回面談を実施し、見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	主に自立支援や日常生活の充実のための活動と余暇の提供を組み合わせる活動を考えています。	地域交流の機会が、社内の託児所や社内のサ高住との交流、近くの公園に行ったときに地域の子どもたちと交流という形で少ないので、今後検討していきたいと思っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	自己選択が難しい利用児もいるので、絵カードやICT、サインなどで個々に合った選択方法を見つけられるように支援しています。関係機関連携で、学校に訪問しどんな方法で行っているのか教えてもらい、支援の統一をはかるように心掛けています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	保護者を通じて情報共有を行っています。	今後も就学児へ移行する利用児もいますので、保護者との連携を図りながら学校とも情報共有していきたいと思っています。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	社内の託児所との交流をしたり、近くの公園などで地域の子どもの交流する機会があります。	改めて機会を設けると言う事は、社内の託児所のみなので、今後は少し幅を広げることも検討していかないといけないと思っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	お迎え時には、その日の様子を積極的にお伝えし、共通理解をしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	子ども部会や保護者から聞いた情報などについては、入口すぐの壁に張り出して情報提供しています。	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に行っています。	支援プログラムについては、作成中なので作成し次第の説明になります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	児発管が半年に1回面談を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	作成後、主に児発管がお迎えに来られた保護者の方に説明し、同意をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	お迎え時に得た情報や訪問看護からの共有情報について、改めて保護者に確認をしたり言葉かけしたりしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	コロナの関係で、来ていない期間がありましたが、2024年は、3月と12月に開催しました。	今後は、年3回(春・夏・冬)で開催したいと考えています。事前に準備を行い、早めにお声かけできるようにしていきたいです。

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	相談を受けたときは、スタッフ1人で対応せず、事業所内に共有し適切に対応できるように心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1	11月からおたよりを発信。SNSは、行事で外部から講師の先生が来る時など発信しています。	大きな行事がない時でも、取り組みや活動などSNSの発信頻度を増やしていきたいと思います。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	鍵のかかった書庫に、個人情報がかかれたものは保管しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	言葉や表情に気を付けています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	季節のイベントごとの時は、社内の託児所の子どもたちを招待したり、社内のサ高住との交流をしたりしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	12月の保護者会で周知しています。マニュアルファイルは、書庫に保管しスタッフはいつでも見れる状態にしています。訓練については、社内(明石エリア)で実施しています。	今後は、地域に施設の事を知ってもらうためにも、地域の訓練について調べて参加を検討していきたいと思います。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	BCP策定し、必要物品を備えています。事業所のスタッフや明石エリアの社内のスタッフの管理者層には、口頭での打ち合わせは行っています。	今後は、災害時の訓練も実施していきたいと考えています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	お薬手帳のコピーをもらったり、発作があった時には、詳しく情報を確認しています。薬の変更や発作の変化があった時は、主に看護師や児発管や管理者が保護者に確認をし、支援経過記録に記入しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	安全計画について、12月の保護者会で周知しました。参加できなかった保護者の方にも後日議事録でまとめた情報を配布予定です。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	終礼時や昼礼時などに、その日、前日の確認を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	3か月に1回5事業所でZOOMミーティングを行っています。年2回社内の研修があり、報告書を提出しています。参加できなかったスタッフも後日動画配信を見て報告書を提出します。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	2	3か月に1回5事業所でZOOMミーティングを行っています。その際に該当するような案件があった場合は、記載します。現段階では、ないため記載はしていません。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハ・リハ キッズ PowersⅢ(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士、児童指導員が毎日2人配置のため制作や手遊びなどのプログラムが豊富。	・はじまりの会でその月の手遊びを行ったり、月ごとに季節の制作をしたりしている。	・中学生、高校生に向けたプログラムを充実していきたい。
2	・施設内に訪問看護があり、連携を密に取ることが出来、家での様子やその日の様子等を共有したり、相談したりすることが出来る。	・パワーズの利用児の様子や訪問看護利用児の様子をその日、または、次の日に共有している。	・実際にパワーズ利用中に様子を見てもらったり、訪問看護利用中に見学に行かせてもらったり、パワーズと訪問看護でカンファレンスや相談会を行ったりして、連携を図っていきたい。

3	<ul style="list-style-type: none"> 社内社外の研修などがあると積極的に参加し、全スタッフスキルアップの意識が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 会社からの発信だけでなく、子ども部会で知った研修を共有したり、個人で見つけた研修などをスタッフに声掛けしたりして、参加している。 パワーズでの社内研修も積極的に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加した人だけで終わるのではなく、参加した研修をスタッフに周知したり、改めて事業所内で研修したりして、参加できなかった場合でもスキルアップできるようにしていきたい。
---	---	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎車両の調整が困難	<ul style="list-style-type: none"> パワーズ専用の車がないため、外出イベントなどが難しく、行けてもかなりタイトなスケジュールになる。 お迎え時間が被った時に、希望の時間でお迎えに行けない可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 車両確保へ向けての対応はしている。 他部署とのコミュニケーションを図りながら、ミスのないように、調整していく。 イベントごとなど、早めに計画し車の調整を行っていく。
2	個別支援計画書に沿った支援が出来ているか不安	<ul style="list-style-type: none"> スタッフの出勤時間が違ったり、出勤し次第送迎などで1人1人に対して時間を取ってカンファレンスが行えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討日などを設定し、スタッフに早め出勤をしてもらい、利用児の支援方法について検討する時間を作りたい。 個別支援計画書作成の際にケアカンファを行うので、その日に早め出勤をお願いし、検討していくのはどうか。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	リハ・リハキッズ PowersⅢ（放課後等デイサービス）
------	------------------------------

公表日 2025年 2月 27日

利用児童数

18

回収数

12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	1	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	1	手洗いができているのか気になります	おやつ前、トイレ後は手洗いまたは、ウェットシートで手を拭くことをしています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	0	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	1		面談や日常で聞いた情報をスタッフに共有し、カンファレンスを行って作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	1	学校と事業所の距離が長い為、滞在時間が短く固定化していると感じます。仕方ないとは思いますが。。	活動内容は、週1の利用児もいるので、繰り返し行い、反応の違いを見ています。今後は利用児によって変更を検討していきたいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	0	4	5		今年から社内の託児所と交流の機会を作るようになりました。今後も近くの公園に行き、地域の子どもたちとの交流の機会を作りたいと思います。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	0	2		ご家族様も参加できる研修など機会を作れていませんでした。スタッフが参加している社内研修などに一緒に参加出来ないかなど、相談していきたいです。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	3	4	保護者、兄弟同士の繋がりがああるイベントがあればうれしい 父母の会、保護者会は存在しない	コロナで保護者会が実施できていませんでしたが、今年は3月と12月に開催出来ました。今後は年3回(春夏冬)行いたいと思っています。きょうだいイベントなど今後できないか相談していきたいです。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	2	0	4		今年からおたよりを毎月発行しています。今後はおたよりに活動内容などをお伝えできたらと思っています。自己評価については、結果を口頭でお伝えしたり、紙でお渡しし見ていただくようによいかと検討中です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	3		今年からBCPが義務づけられています。12月の保護者会で周知説明行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	3		年2回、明石工エリアで防災訓練を実施しています。救急対応訓練は2ヶ月に1回実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	0	3	今まで自分の子どもで事故が起きたことがないので、分からない	事故が発生した時は、保護者に連絡し利用児の様子を伝え、謝罪。その日の利用継続の相談を行います。その後事業所では、振り返りと原因の確認、今後の対策についてスタッフで検討します。休みのスタッフにも共有しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リハ・リハキッズ PowersⅢ (放課後等デイサービス)		公表日		2025年 2月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	使った後は元あったところに片づけたり、気づいた人が声掛けして片づけたりして行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	5	スタッフの休みが出た場合は、同じ職種の職員に声掛けし配置し、調整を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	5	トイレの場所に、トイレマークを貼り付けてわかりやすいようにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3	毎日終了後に清掃や環境整理を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	4	集中力の持続に課題がある利用児については、相談室を活用することがある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	3	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	今年はおかし療育図鑑の取り組みで外部の評価を行ってもらった。評価結果はまだなので、公表され次第確認し業務改善に繋げていきたい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	事業所全体で勤務時間内に、研修を定期的実施している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	3		作成中。今年中に公表予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	アセスメント内容を5領域に分類し、面談で聞き取り、個別支援計画書を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児発管が原案を作成した時に、スタッフが確認しカンファレンスを行い、利用児に合った支援を検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	その日利用の利用児の計画書コピーをカルテと一緒に準備し、いつでも気軽に見れるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	3	週1、週2利用の利用児もいるので、約1か月活動を固定化したり、少し変化を付けたりして繰り返し行う事で子どもの反応の変化を見るようにしています。		

援 の 提 供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	全員揃った時間にはじまりの会で集団活動を行い、その後個別の活動を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	4	送迎があったりスタッフの勤務時間が違ったりして昼礼として時間をとる事が難しいこともありますが、子どもと一緒に始まりの会で、連絡事項など内容について注意しながら周知することがあります。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	送迎があり終礼にさんが出来なかつたり、残業になってしまったため出来なかつたりすることがありますが、時間があるときは終礼を行い、振り返りを行っています。	1日5分でも振り返りの時間を作り良い支援がしていけるようにしたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	日々カルテに計画書に沿った内容で、どのような取り組みを行い、どんな反応があったかなど支援記録を記入しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	児発管が半年に1回面談を実施し、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	3	主に自立支援や日常生活の充実のための活動と余暇の提供を組み合わせ活動を考えています。	地域交流の機会が、社内の託児所や社内のサ高住との交流、近くの公園に行ったときに地域の子どもたちと交流という形で少ないので、今後検討していきたいと思っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	2	自己選択が難しい利用児もいるので、絵カードやICT、サインなどで個々に合った選択方法を見つけられるように支援しています。関係機関連携で、学校に訪問しどんな方法で行っているのか教えてもらい、支援の統一をはかるように心掛けています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	保護者を通じて情報共有を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	学校から1か月の予定表をもらい、その紙で確認しています。下校時刻の確認は、利用希望表を紙でやり取りし、保護者に記入してもらっています。トラブル発生時の連絡については、発作などがあつた場合、動画を取って確認してもらつたり、テレビ電話をつなげさせていただくように、面談時に説明しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	現段階では、放課後デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行した事例がありません。	今後以降予定の利用児もいるので、支援内容等の情報提供を行っていききたいと思います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	社内の託児所との交流をしたり、近くの公園などで地域の子どもの交流する機会があります。	改めて機会を設けてと言う事は、社内の託児所のみなので、今後は少し幅を広げることも検討していかないといけないと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	子ども部会や保護者から聞いた情報などについては、入口すぐの壁に張り出して情報提供しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	子ども部会や保護者から聞いた情報などについては、入口すぐの壁に張り出して情報提供しています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	契約時に行っています。	支援プログラムについては、作成中なので作成し次第の説明になります。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	児発管が半年に1回面談を行っています。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	作成後、主に児発管がお迎えに来られた保護者の方に説明し、同意をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	お迎え時に得た情報や訪問看護からの共有情報について、改めて保護者に確認をしたり言葉かけしたりしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	3	コロナの関係で、出来ていない期間がありましたが、2024年は、3月と12月に開催しました。	今後は、年3回(春・夏・冬)で開催したいと考えています。事前に準備を行い、早めにお声かけできるようにしていきたいです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	相談を受けたときは、スタッフ1人で対応せず、事業所内に共有し適切に対応できるように心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	11月からおたよりを発信。SNSは、行事で外部から講師の先生が来る時など発信しています。	大きな行事がない時でも、取り組みや活動などSNSの発信頻度を増やしていきたいと思えます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	鍵のかかった書庫に、個人情報が掛かれたものは保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	言葉や表情に気を付けています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	季節のイベントごとの時は、社内の託児所の子どもたちを招待したり、社内のサ高住との交流をしたりしています。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	12月の保護者会で周知しています。マニュアルファイルは、書庫に保管しスタッフはいつでも見れる状態にしています。訓練については、社内(明石エリア)で実施しています。	今後は、地域に施設の事を知ってもらうためにも、地域の訓練について調べて参加を検討していきたいと思えます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	BCP策定し、必要物品を備えています。事業所のスタッフや明石エリアの社内のスタッフの管理者層には、口頭での打ち合わせは行っています。	今後は、災害時の訓練も実施していきたいと考えています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	お薬手帳のコピーをもらったり、発作があった時には、詳しく情報を確認しています。薬の変更や発作の変化などがあった時は、主に看護師や児発管や管理者が保護者に確認をし、支援経過記録に記入しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	安全計画について、12月の保護者会で周知しました。参加できなかった保護者の方にも後日議事録でまとめた情報を配布予定です。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	終礼時や昼礼時などに、その日、前日の確認を行っています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	3カ月に1回5事業所でZOOMミーティングを行っています。年2回社内の研修があり、報告書を提出しています。参加できなかったスタッフも後日動画配信を見て報告書を提出します。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2	3カ月に1回5事業所でZOOMミーティングを行っています。その際に該当するような案件があった場合は、記載します。現段階では、ないため記載はしていません。		